



森のなかま

2017年3月号

NO. 107 (継続252号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号

発行人 久保 重明

TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

山の神祭 厳かに開催される！！

平成29年1月15日(日) 晴れ

山の神祭式次第
一、開会の辞
二、一同拝礼
三、献饌の儀
四、お払いの儀
五、祝詞奏上
六、玉串奉奠
七、直会の儀
八、一同拝礼
九、閉会の辞

森林ボランティア活動の 安全と隆盛を祈念して

雪の情報もある中、無事好天に恵まれた平成29年1月15日(日)、かながわ森林インストラクターの会恒例の『山の神祭』が森林文化部会主催で会員50名の参加を頂き、執り行われました。

10時、皆さんはやどりき水源林の祠(ほくら)前に参集し、森林文化部会の真貝氏(11期)の司会、高橋修氏(9期)の祝詞(のりと)奏上(そうじょう)後、会(理事長)、森林文化部会そして1期から14期までそれぞれの期が祭壇(さいだん)に玉串(たまぐし)を奉奠(ほうてん)し、一年の山仕事の安全と、森林づくりボランティア活動の隆盛を祈念致しました。その後、やどりき水源林休憩棟前で皆様から奉納されたお神酒で、直会(なおらい)の儀を初春祝う陽光を浴びながら1時間ほど行いました。その後新年会会場の松田町松田庶子に向かいました。

(取材、写真:広報部)



祠(ほくら)前に参集

祝詞奏上(のりとそうじょう)



直会の儀と
奉納された神酒



会員の集い(新年会)

恒例の山の神祭の後、『会員の集い(新年会)』が45名の参加を頂き松田町のわたやで盛大に行われました。

直会の儀のお神酒で下地ができた会員が久保理事長の挨拶、乾杯後高橋恒通氏(3期)の落語を楽しみ、2時間があっという間に過ぎ神主を務めた高橋修氏(9期)の締めで無事終了となりました。改めてご参加頂いた方々、準備をして頂きました森林文化部会の皆様のご協力に感謝し、ご報告とさせていただきます。

(記 事務局長 福島 正治)

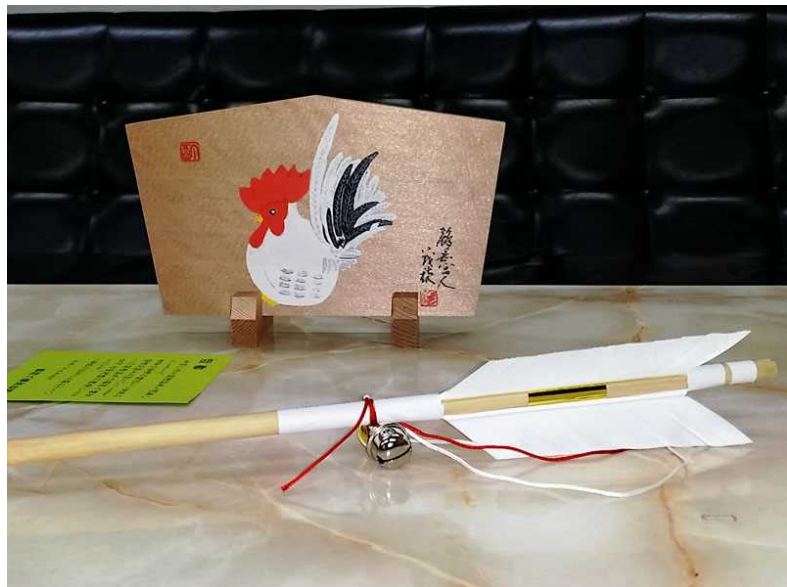
久保理事長の挨拶



高橋恒通さん③
(落語家名は:花鳥亭三太)
と司会の赤崎さん⑫



新年開運の**破魔矢・絵馬**を頂戴致しました



1月20日(金)鶴岡八幡宮 教化部長、権禰宜の角井司様が厚木事務所に来所されました。

鶴岡八幡宮 新年開運の破魔矢と絵馬をお持ち頂きましたので、皆様にご報告させていただきます。角井部長のご配慮を頂き、会員の皆様の一年間無事をお祈りし事務所に飾らせて頂きます。

(記 事務局長 福島 正治)



森林部会『**親睦会**』が開催！！場所:伊勢原市三ノ宮ひじりの森フィールド
平成29年1月8日(日)、曇りのち雨 参加者:33名

＜森林部会幹事 大橋 聡 11期＞

当日スタッフ 菊池①、大橋⑪、斉藤⑬、國弘⑭

(写真提供:足立氏④)

天気が心配であった為、当初予定から1時間前倒しで竹林間伐作業を切り上げ、少し早い昼食後本日のメイン親睦会を行った。1期から14期まで総勢33名のメンバにご参加頂き、ビールと暖かい豚汁には大満足頂けた様子が伺えた。この機会に年1回しか活動に来てなかった方もいましたが、それも大歓迎。なにより新年最初の活動として今回初めてこの森に来たという方がいたことは、今年はより一層の部会活動盛り上がりを感じさせる1日となった。



今年の安全を祈念して山の神社に拝礼



全員で

自然観察部会『冬の野鳥観察会』 観察場所:相模川 神沢河原
平成29年1月7日(土)、快晴/微風 参加者:28名

(写真提供:大原⑬、野村⑭、松本⑪)

- 講師:秋山 幸也氏 (相模原市立博物館学芸員)、アシスタント:山尾(Ms.)氏



オリエンテーション



秋山講師(右)と山尾氏



参加者へバッジのプレゼント(エナガ)
この日もたくさん飛び回っていました

- スケジュール: 9:10 JR 橋本駅南口集合 → 9:25~9:40 バス移動、水場バス停下車 → 10:15 河原に移動後、講師と合流&オリエンテーション → <午前観察> → 12:20~13:00 昼食 → <午後観察> → 14:10 鳥合わせ&まとめ会 → 14:52 水場バス停発 → 15:10 JR 橋本駅解散

冬の野鳥観察会

<記 羽鳥 亨 14期、野村 昭憲 14期>

正月も松の内の1月7日(日)に相模川神沢河原にて冬の野鳥観察会が行われました。当日は絶好の観察日和、参加者も28名と大勢でした。講師は相模原博物館の秋山幸也氏と山本女史。初めに秋山講師から、初心者向けに双眼鏡の使い方などの説明があり、次に誰でも知っているスズメの顔を書いてくださいと言われて皆顔を見合わせるばかり、人間の記憶とはいいい加減なものだと痛感させられました。

スタートは川下に沿って歩き、コブハクチョウとオオバンなどの水鳥を観察。コブハクチョウは近くの公園から逃げたものとの説明がありました。この日のハイライトは何といってもナベヅルでしょう。その大きさと灰褐色の姿は圧巻で思わず感嘆の声が漏れました。普通は鹿児島、山口、などでしか観測できないと言われていて、なぜここで観られた秋山講師も分からないと言っていました。

観察会は野鳥だけでなく、途中この河原でしか見られない希少植物も観察しました。カワラノギクはこの地相模川、多摩川、鬼怒川の3か所にしか生息していない絶滅危惧植物です。

最後に参加者全員で、何種類の野鳥が観察されたかの「鳥合わせ」が行われ、40数羽が確認されました。講師もこんなに多く確認できるのは珍しいとのことでした。最後に秋山講師から、野鳥や植物が生息できる自然環境の保護がこれから大切であり、皆さんの「森林インストラクターの会」の活動に期待しています」と言われ観察会を締めくくられた。今日は好天にも恵まれて参加者は帰りの会話の弾んだ冬の野鳥観察会でした。

● 鳥 観 察

遠隔撮影や逆光等のため色合や鮮明度が異なります

この日のハイライト
ナベヅル幼鳥 (三態)



年末から迷い込んでいるというナベヅルが、目視の範囲に飛着。対岸にはどこからか情報を得た他の鳥愛好家がたくさん来ているのにビックリ!





エナガ:私達も撮れました。



オオバン:かなりの遠隔撮影でした。



イカルチドリ: 助手の山尾さんが、100m+α先の河原対岸にいるこの鳥を見つけて、みなビックリ



おなじみのカワセミ



オオタカとノスリ : 飛んでいる時の尾の形状の違いを観察(青空を優雅に飛んでいました)



コゲラ

この日に見聞きした鳥

キジ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、

外来種: コジュケイ、ガビチョウ、コブハクチョウ

特別ゲスト: 謎いのナベツル幼鳥

● 植物観察



カワラノギク : この地相模川、多摩川、鬼怒川の3カ所にしか生息していない絶滅危惧植物



メリケンカルカヤ
(外来種 : アメリカから)



シナダレスズメガヤ
(ウィーピング・ラブグラス)
外来種 : アフリカから

参加者:28名

菊池①、鈴木⑥、塩谷⑦、阿部⑧、鈴木⑧、内野⑨、飯澤⑨、村井⑨、松山⑩、小林⑩小笠原⑩、松本⑪、松永⑪、湯浅⑪、山口⑪、山下⑪、石川⑫、赤崎⑫、平田⑫、長尾⑬、大原⑬、宇田川⑬、松石⑬、依田⑭、羽鳥⑭、牧石⑭、木村⑭、野村⑭

活動短信

今回の掲載は平成28年11/19～11/27です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



金盞香 11/17～11/21 頃
きんせんかさく
水仙の花が咲いて香る
第五十七候 **立冬** 末侯

無料イラストより



朔風払葉 11/27～12/1 頃
さくふうはをはらう
北風が木の葉を吹き払う
第五十九候 小雪 次侯

◆ **神奈川トヨタ自動車株式会社 第34回プリウス森木会**
森林再生パートナー活動
大径木の伐採とクリスマスリース作り

1 日 目

日 平成28年11月19日(土)10:00～15:00、雨

場 やどりき水源林

スタッフ 神奈川トヨタ 加藤室長、佐藤様
寺島様、加藤様 他6名

看 萩原様

参 (トヨタプリウスユーザー様29名

(大人22名、子供7名)

県 武田様 星様、

イ L 福島⑪、森本⑤、大道⑥、若林⑦、草野⑧、
時田⑩、岩田⑭、藤井(世)⑭

天気予報は、土曜日は雨。日曜日は晴れ。プログラムは、雨用、小雨用、晴れ用、と準備万端。

第1日目19日 朝から降り続けている雨は止む様子はなく、森の中は静かに霧が立ち込め幻想的な雰囲気。

大径木の伐採が出来ないのでプログラムを変更して森林に関する講話とシュロの葉でバッタ作り。

バッタ作りは、シュロの葉を編みこんでいくと美しい模様ができ、皆さんバッタの出来栄えに大喜び。

その後、リース作りを杉の香りに包まれながらやりました。松ボックリ、どんぐり、リボンを楽しく飾り時間を忘れるほど夢中に作っていました。

午後は、大抽選会で盛り上がり、ヒノキチップを沢山お土産で持ちかえりました。また、森の中を歩きたいという方がいたので案内しました。

雨のため早めに終了して解散となりました。トヨタのスタッフの方にも、プリウスの森まで案内し森林浴、呼吸法を体験して

もらいました。

(記 藤井 世枝己 14期)

2 日 目

日 平成28年11月20日(日)10:05～15:45、晴れ

場 やどりき水源林

参 (トヨタプリウスユーザー様)42名

県 増子様 大西様

スタッフ 黒澤室長他 10名

看 萩原様

イ L 福島⑪、森本⑤、大道⑤、若林⑦、草野⑧

水津⑨、吉田⑪、笠原⑭。

昨日の冷たい強雨とは打って変わり、今日は晴天に恵まれやどりきの紅葉のもと絶好の活動日和となった。

活動プログラムは、

1) X'mas リース作り

2) 散策路クリーンアップ

3) 大径木の伐倒、

参加者を伐倒体験組とリース作り+クリーンアップ組の2組に分け午前・午後入れ替えでそれぞれのプログラムを体験する。

注目されるのは、樹齢約60年生、伐根直径30cm強、樹高20m余りのヒノキをインストラクターはチェーンソーを用い、参加者は手鋸を使用しコラボレーションで大径木の伐倒を行うと言う新しい試みである。

伐倒に先立ちインストラクターが担当するチェーンソー操作上の危険性、保護具の必要性、また受け口・追い口・弦(つる)の重要性・掛かり木処理等について、基本的な安全対応を説明し実践に移る。

先ずインストラクターは、チェーンソーで受け口をカット。(いとも簡単に受け口、三角コーナーが切断され様子に驚きの声上がる)その後、参加者が追いく口に鋸を入れる。しかし大径木のヒノキは、簡単に切り込めないインストラクターの手を借りながら伐倒し掛かり木となる。

掛かり木処理では参加者総力でロープを引き目標方向に倒れると、その轟音と迫力に歓喜を上げる。全員で枝打ち、鍋敷き、コースター作りにチャレンジお土産作りに汗を流し十分満足した様子で有った。

この他、散策路のクリーンアップ、この時期定番の X'mas リース作りについても好天下、新鮮な空気を満喫しながら楽しい時間を過ごして頂いた。

(記 大道 辰夫 6期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 神奈川県森林組合連合会

日 平成28年11月19日(土)、雨

場 南足柄市 県立21世紀の森にて

参 18名、大人14名、子供4名

イ 杉崎⑩、赤崎⑫

前日の天気予報が雨だったので、雨天のプログラムに切り替え、活動を実施しました。

当日の21世紀の森は、紅葉が素晴らしく、雨もそれほど強くなかったため、観察場所を広げず、葉っぱを探しながら、じっくり観察する「葉っぱビンゴ」を行いました。私の至らない点は、ベテランの杉崎インストラクターが解説をしてくださいました。樹木の特徴や、利用方法など、参加者の方は興味深く耳を傾けて、色々と質問が出てくることもありました。家族単位で完成した葉っぱビンゴは、1つとして同じものはなく、それぞれ大変素晴らしい出来栄でした。その後、雨脚が強くなってきたので、展示室にある「水源林の仕組み」や、「森林整備の意義」を皆さんと学びました。お昼までの活動でしたが、とても楽しい活動になったのではないかと思います。

(記 赤崎 さほり 12期)

◆ 株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ

⇒2016.11.1に富士通株式会社に合併

森林保全活動「2016年度 FMCS秋季環境社会貢献活動

日 平成28年11月19日(土) 10:30～13:30、雨

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

「富士通・神奈川グループ はじまりの森」

参 飯村課長はじめ16名(男性12名 女性3名)

イ L村井⑨、澤村⑫、立花⑭

定刻に皆様到着されました。未明より降り出した雨のため作業は残念ながら中止とさせて頂き、この頃雨が小止みになりこのタイミングを利用し作業予定地を見学しました。

間伐の目的、意義、対象となる木の選び方、仕方等について現場を見ながら説明を聞いて頂きました。

「東側が谷になっていて谷側には倒せませんね」、立木の状態を見て「これは伐った方がいいですね」、「さる地方の土木部にいてこういう山や木が仕事の対象でした」等々の声が聞かれました。

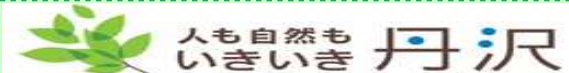
この後場所を21世紀の森に替えてふれあい館にて食事を摂りその後森林講座を行いました。

村井リーダーより針葉樹の葉についてミニ解説。

当日参加された方のお一人掛札様、実は⑭期のインストラクターでもあり富士通MCS様のスタッフからインストラクターに立場を変えて「秋に木の葉が赤や黄に色づく仕組み」を熱く語って下さいました。

次の機会には作業したいですねと期待を込めて21世紀の森を後にされました。

(記 澤村 徹 12期)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。<http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 横浜市立平沼小学校

森林学習や森林作りの体験活動(間伐体験)

日 平成28年11月22日(火)10:30～15:00、晴れ

場 相模原市緑区 長竹承継分収林

参 小学5年生 3クラス 10グループ 106名

校長先生と教師等10名

財 古舘様

イ L足立④、佐藤⑤、有坂⑧、小沢⑨、村井⑨、松山⑩、松本⑪、松石⑬、立花⑭、木村⑭、牧石⑭

前日より降り続いた雨も上がり、当日は朝からスッキリと晴れた天候に恵まれ、活動を行う事が出来ました。始めの会では、小西校長先生より、まっ青な空を見て下さい、今日はこの青い空の下で間伐活動を楽しんで下さい、とご挨拶がありました。インストラクターの紹介とリーダーより注意事項の説明後、愛川ふれあい村より長竹承継分収林に全員でバス移動、11時30分～活動開始。今回の活動では、子供達に「なぜ間伐が必要なのか」のレクチャーを行った後、子供達を交えて選木を行い、間伐活動とコースター作成を実施しました。間伐体験活動では、子供達のロープを引く時のかけ声や、木が倒れた後には、歓声と拍手が聞こえ楽しく安全に活動を実施しました。終わりの会では、大木田、児童支援専任教諭より、昨年は天候に恵まれず活動が出来なかったが、今回は活動が出来て大変良かった。今日体験した事がこれから学ぶ、社会科の学習「森林とわたしたちの暮らし」という学習の、理解の位置付けになりました」とご挨拶後、横浜市立平沼小学校の皆様より、お礼の言葉をいただき予定通り終了しました。

(記 牧石 稔 14期)

◆ 鎌倉公園協会 間伐・除伐

日 平成28年11月26日(土)

場 鎌倉市 山崎中央公園

参 9名

スタッフ 鎌倉市公園協会、千田様、後藤様

イ L 安部⑤、小沢⑨

悪天候のために、一週間遅れの開催となったので、参加者減少が懸念されたが、その通りでした。その反面、インストラクター一人当たりの指導人数が減り、中身の濃い講習となりました。

年間三回の実技講習も、今回で最終回ということで、間伐・除伐を実施しました。対象樹木を指定して、後は、講習生が実践方法の全てを協議・検討の上、決定し、チームワークよく、安全に実施することができたと思います。

道具の手入れの後、昼食をとりながら、雑談を交え、意見交換・質疑応答で、楽しい時を過ごしました。

ことに、ロープワークは、一つだけは、覚えて帰ってもらえましたことを嬉しく思います。講習修了性は、今後鎌倉市でボランティア活動に参加していただけることを、お願いして、終了いたしました。

(記 安部 善雄 5期)

◆ 鶴岡八幡宮槐の会及び鶴の子会

やどりき水源林での林内作業と自然観察

日 平成28年11月27日(土)8:30~15:00、曇り後雨

場 やどりき水源林

参 槐の会53名、鶴の子会46名

県 前原様

イ L 高橋⑨、草野⑧、菊地①、若林⑦、三浦⑧、内野⑨、波多野⑨、宮下⑩、湯浅⑪、山下⑪、福島⑪、安井⑫、江頭⑬、真部⑬、笠原⑭、小林⑭、藤井敏彦⑭

秋は槐の会の定例イベントであったが、8月に鶴の子会のイベントが雨で中止になっていた事から、合同で開催することとなった。週間天気予報でも27日は雨の予報が続いており、開催直前には雪が降る天候となり、各種イベントが中止となっていたが、午前中だけでも開催したいとの思いで実施した。

当日は朝方まで雨であったが、開催時刻は幸いにも曇り空で、午前中は槐の会が予定していた間伐、経路補修、林内整備を実施。鶴の子会の予定であった水源涵養実験とBコース散策は林道コースに変更して実施できた。午後からは空模様が変わってきたため、当初の終了時間を短縮し内容、時間

を変更した。

槐の会は林道コース散策班と癒やし体験班に分かれ、天候を見ながら対応した。鶴の子会はミツマタの移植体験を実施した。変更した終了時間間近になった時に雨が落ちたしたが、各班ともほぼイベントを終了して集合場所へ帰ってくるところであったため、大きな混乱は無く無事閉会式も出来た。

天候に振り回されたイベントであったが、ほぼ当初の計画であった内容は出来たため、主催者、参加者も開催できて良かったとの言葉があった。散策でも子供達から沢山の質問もあり、有意義な活動になった。

(記 高橋 修 9期)

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研:研修枠

以下本文を概ね400字を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

※活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。※

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は4月号です。

●お詫びと訂正2月号第17回のテーマ名を間違えて記載してしまいました。谷田貝様へのお詫びとともに訂正をお願い致します。

誤) 植物の生育をコントロールするアロパシー
正) 植物の生育をコントロールするアレロパシー



かながわ森林インストラクターの会は
『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林 ミニガイド

2月のトピックス

無彩色のこの時期に綺麗なツルの枯花がありました。
(ボタンヅル? センニンソウ?)



(2/22 松本撮影、後沢入口付近)

3月の水源林

春の訪れです。中旬にはミツマタの花が見頃となります。

「森の案内人」情報

いよいよ3月4日(土)から案内人当番が始まります!!

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時、1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

- 問合せ: (公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300

- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

- E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

国際森林デー中央イベントは、3月25日(土)に開催

2012年12月に森林や樹木に対する意識を高める記念日として、国連で決議され毎年3月21日を「国際森林デー」と決議されました。今年も「国際森林デー」を中心に各地域で森と木に関連したイベントが予定されており、その一つとして、「国際森林デー2017 みどりの地球を未来へ」~海の森と国際交流~が東京湾の埋め立て地「海の森」で開催されます。このイベントに参加していただく一般の方(4歳以上)を募集します。本イベントを通じて、人種、民族、国籍を超えて交流を深め、樹木に親しむ機会をともにすることで、森林を貴ぶ心を世界に広げます。

詳細は

林野庁国際森林デー関連 HP:

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/130308_1.html



◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★梅祭りに行きたいと思っているうちに花が散り始めてます。

残念!

(赤崎)

★我が家の近くの片倉城址には春本番になると一面カタクリの美しい姿を見ることが出来ます。

(小川)

★春めくいい時期に、花粉症もちの私は外での散策つらいけど、くしゃみをしながら頑張ります

(水口)

★日差しが強くなってきました。春が近いと感じますが、最近の天気の変り変わりは過去とかなり違っています。これも温暖化の影響でしょうか

(蘭田)

★この時期は心身ともに活動が低下していますが、先日2/16湯河原梅林に行ってきました。とても良い天気です。電車の行き帰りでぐっすり眠って来ました。家内は呆れていました。もちろん梅は最高でした。あの辺にはクレソンもワラビもありそうですが、岩、石が多いのでへびもたくさんいそうですね。私の嗅覚がそう感じました。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 水口俊則 赤崎さほり
小川和恵 蘭田栄哉
大塚晴子 小池 哉
支援 伊藤恭造 大原正志
江頭淑子



場所: 西平畑公園 足柄上郡松田町松田惣領 2951 時間: 午前9時~午後5時
問合せ: 松田町観光協会 ☎0465-85-3130 松田町観光経済課 ☎0465-83-1228
HP: http://lets-go-matsuda.com/?page_id=1148
松田山ハーブガーデン ☎0465-85-1177